

巻頭言

2000年のこと

副会長 千葉

2000年も早2ヶ月が経過した。昨年末の2000年問題も、過ぎてしまえば何だったんだろうと思う。大晦日はオンコール体制で、アルコールを口にすることすらままならなかったのである。忌々しい。だが結果として、少なくとも私のまわりには何事も起きなかったし、日付が変わってすぐ娘のカレシが来て一緒にお屠蘇したから、良かったということにしておいてやろう。

明けていよいよ2000年。「ミレニアム」「千年紀」である。マスコミで騒がれ話題となった。(やれ、ミレニアム結婚だ、ミレニアムベビーだと。余談だがこの2月にウチの松村に女兒が授かった。おめでとう。)

そもそも2000年は西暦であり、キリスト誕生からの年数である。したがって、日本のマスコミのミレニアムよりもヨーロッパ文化圏が2000年にこだわったのは当然である。それは、聖書(ヨハネ黙示録20章)の千年王国説に基づき、世紀の始期の問題よりも千年紀そのものに宗教的・社会的意義をみとめているからに他ならないからである。(当法人機関紙「衣笠」～2000年・解放の年 理事長 阿部志郎～より)

さらに、キリスト教では50年を区切りとして祝祭を行う伝統があり「ヨベルの年」として継承されている。これがたまたま2000年と重なり「ジュビリー2000」とよばれ特別の年となったのである。

この特別の年を迎えるにあたり、ヨーロッパの多くの寺院では、ジュビリー2000の準備のための化粧直しをするヤグラが組まれ無粋なシートが荘厳な姿を覆い隠したため、しばらくその全景を見ることができなかった。2000年の少し前にそこを訪れた旅人達には少々不満が残ったに違いない。

「ミレニアム」にはこのような背景があったのである。我が国での2000年問題はコンピューターの誤動作と、それに伴う諸々の心配だけに終始したが、これは文化の違いでやむを得ないところであろう。

さて、話題の多い2000年も4月には新年度という日本特有の区切りを迎える。横須賀三浦放射線技師会においては2年に一度の役員改選の年にあたる。選ばれし者は、新しい世紀への橋渡しとなる重責を負わされることになる。我々会員一人一人の存在と努力が、その支えとなろう。

寒い日が続いているが、この寒さがいつまでも続いて欲しい気もする。季節でも何でも次への切り替えが上手いかなくなるのはトシのせいではない。

もうすぐ春、新しい柔らかな芽が出てくる。

平成11年度

横須賀三浦放射線技師会総会開催

3月25日(土)午後3時より

横須賀市文化会館会議室において、平成11年度の定期総会を開催致します。2000年問題も何事もなかったようにミレニアムの年は既に3月を数えるに至りました。本年は役員改選が行われます。皆様奮ってご出席下さい。ご案内の出欠を忘れずに提出して下さい。

		式次第	
		司会	
一、	開会の言葉	千葉副会長	二田理事
一、	挨拶	新倉会長	
一、	祝辞	加藤泉県会議員候補	
一、	議長団選出		
一、	①平成11年度経過報告		
一、	〔庶務〕	石島理事	
一、	〔学術〕	高橋理事	
一、	〔広報〕	柳沢理事	
一、	〔福利厚生〕	杉本理事	
一、	〔救急医療〕	松井理事	
一、	〔YMBIT〕	服部理事	
一、	平成11年度一般会計報告	坂詰理事	
一、	平成11年度救急センター会計報告	大藤理事	
一、	平成11年度会計監査報告	鈴木理事	
一、	地区委員報告	新倉理事	
一、	役員選挙 選挙管理委員	新会長	
一、	平成12年度事業計画案	坂詰理事	
一、	平成12年度一般会計予算案	大藤理事	
一、	平成12年度救急センター予算案		
一、	その他		
一、	議長団解任		
一、	閉会の言葉	中井副会長	

※ 総会のみのお出席者は、年会費のみご用意下さい。
懇親会を希望される方は、別に2,000円が必要です。

※ 懇親会には、賛助会員の方々も出席いたします。
ぜひ交流を深めて頂きたいと思ひます。

執行部・理事会

第4回理事会報告

日時、1月22日(土) 15:30～
場所、防衛庁横須賀クラブ
司会、中井副会長
出席者、17名

1) 庶務経過報告 二田理事より

- 10月19日 地区助成金申請書を県技師会宛て送付
 - 21日 第85回研究会案内を送付
 - 27日 第3回救急業務連絡会案内を送付
 - 11月4日 ボーリング大会案内を送付
 - 11日 横須賀市民加村鐵郎殿実母訃報を連絡網にて連絡
 - 12月3日 第4回理事会案内を送付
- 平成12年
- 1月12日 横須賀共済病院二田勇殿実父訃報を連絡網にて連絡

2) 会計報告 坂詰理事より

- 1 三浦市福祉協会に50周年積立金より3万円を寄付
- 2 技師会CPUは次回事務局に引き継ぐ
- 3 高崎理事より会費の未収について
坂詰理事3月末までに8割の予定
- 4 平成12年度予算案慶弔金を30000円
- 5 平成12年度予算案YMBTホームページ開設につき45000円

3) 広報部 高崎理事より

- 1 原稿の集まりが遅いので協力をお願い
- 2 総会前にもう一回発行予定

4) 福利厚生 齊藤理事より

- 1 平成11年7月3日にゴルフ大会開催

- 2 平成11年7月17日に3部合同納涼会
- 3 平成11年11月22日ボート大会を開催

5) 学術 須藤理事より

- 1 平成12年2月19日 第11回横須賀三浦地区横浜南部地区合同勉強会
場所 ベル横須賀 15:00より
- 2 平成11年7月17日 第84回研究会開催
- 3 平成11年11月27日 第85回研究会開催

6) 救急センター 会長より

- 1 プロッケターブルが稼動
- 2 年末年始患者数約340名撮影
- 3 cpu 購入 インク代、用紙は庶務費より購入
- 4 救急連絡会議通知はがきを救急担当理事にお願いしたい。庶務二田より

7) 地区委員 新倉理事より報告

8) 平成11年度総会の役割分担の確認

- 9) 関野相談役より平成12年度活動方針について提案
ICRP90年度勧告について」勉強会等を行い広く普及する
女性技師の活動を会として進める
ボランティア活動の推進

《地区委員会報告》

地区委員 新倉雅人

開催日時：平成11年11月11日(木) 18:30～
開催場所：神奈川県放射線技師会504会議室

議 題

- 1：会長報告
- 2：各委員会報告
- 3：その他

会長報告

- 1 平成11年度県衛生表彰及び市衛生表彰に、それぞれ東海大学病院の安藤富士夫先生と横浜市立市民病院の櫻田 晃先生が選ばれました。
- 2 平成11年10月30日～31日に関東連合会会長会議が開催されました。
平成12年度の学術大会は例年通りに茨城県にて開催されます
平成13年度の開催地は神奈川県の予定です。
- 3 平成11年10月22日～23日 日本放射線技師会理事会が開催されました。
今回技師会の定款改正について審議されました。
改正点については以下の通りになります。
 - 1 学会名を日本診療放射線学会に改名
 - 2 日本全国を7支部にブロック化
 - 3 役員定数を会長1名 副会長1名 理事33名とする。
 - 4 奈良県にて開催された日本放射線技師会学術大会に2500名の参加があり、神奈川県からも69名の参加がありました。
 次回 開催地として平成12年度は沖縄県 平成13年度は岡山県倉敷を予定しています。

各委員会報告

神奈川県放射線技師会会員数1489名(本年度新入会員数81名)と報告がありました。

平成11年11月12日 第20回神奈川県病院学会が開催されます。

本会からも2演題の発表を予定しています。

平塚地区において開催された第9回健康スキップは6Kコース、12Kコースあわせて22名の参加がありました。

平成11年11月6日～7日 国際親善病院において開催された放射線管理士法令課程講習会に52名の参加がありました。

神奈川県技師会は勤続30年及び50年表彰に該当する方々を募集しています。
表彰該当条件に関しては、各地区技師会事務所に別紙にてお知らせしてあります。
表彰該当者の推薦をよろしくお願いします。

その他

平成11年度における神奈川放射線技師会行事は以下の通りです。

新春賀詞交歓会 平成12年1月14日(金) 18:30～ ホテル横浜ガーデン
4階アイリス

第2回放射線管理士・放射線関連機器管理責任者認定講習会「法令課程」

平成12年1月29日(土) 13:00～20:00 横浜市技能文化会館 802大研修室
30日(日) 9:00～20:00 横浜市健康福祉総合センター8F
会議室

参加費 5000円(テキスト代)

募集人数 50名

上記の講習会は日本放射線技師会が主催し、教育センターにて開催される放射線管理士及び放射線関連機器管理責任者の専門課程講習会の際、共通する法令課程を各県技師会が代行するもので、これから資格を取ろうとする方々にとって必須のものです(2年間有効)

それ以外の方たちにも日常の管理業務に役立つ講習会になっています。
多数ご参加下さい。 詳細は神奈川県技師会誌に掲載されています。

横須賀三浦放射線技師会

ホームページ開設&乞うご期待!

YMBIT・服部祐治

技師会報No74号にてお知らせ致したとおり、全国の地区技師会初の(多分)構想3年に及ぶインターネットホームページが開設の運びとなりました。

何事についても目新しいことを始めることは気分がいいものであるが、中にはいらぬ中傷等により挫折などと言うものがつきものである。当技師会の会員は、新し物好きなのか中傷などさらさら無く、またYMBITの面々は、50周年での経験が功を奏したのか、挫折、プレッシャー等どこ吹く風とばかりに、わずか1年でホームページの開設にこぎつけた。「好きこそ物の上手なれ」若手の技師の中にも、コンピューター大好きと言う方々が多々見受けられる昨今ですが、これぞ私が15年くらい前に描いていた今日の姿である。ようやくコンピューターが生活の一部として根付いてきたように思われる。

当会のホームページの概要は、経費が毎月1500円ほどかかり、市民病院の高久技師に全面的にお願いしている状況である。内容は会長挨拶、技師会紹介、規約、技師会年間活動予定、理事紹介(写真入)、リンク集、YMBIT紹介、掲示板、入会案内(申込書添付)となっている。まだまだ不完全なホームページであるが、会員から励まし、またはお叱りのメールでもいただき育てていければ幸いである。

インターネットは世界各国のホームページに瞬時にアクセスでき、自宅にいながら世界を旅しているような気分さえしてくれる。マニアとは熱中、熱狂などと訳されるが、マニアックとなると気の狂ったとか、狂気などと訳され、あまりいい意味で使われないようである。コンピューターの世界もご多分にもれずマニアックな方々が多く、アメリカ国防のペンタゴンへハッカーの侵入、国内でも最近、科学技術庁や各省庁関係のホームページに侵入されたと新聞などで報道されている。その他、何年も苦勞して蓄積したデータが、突然ウイルスに侵され被害が出るなど世を騒がせているようである。特に医療職に従事する私たちは、マニアックまで行かずマニアまでで止めておきたいものである。

今後、ホームページをどのように運用していくか課題であるが、現在、技師会からのお知らせ、通達の発送などにかかなりの通信費がかかるため、それらの経費をネット使用により節約できるか、特に技師会からの連絡に威力を発揮することができれば、このホームページの役割はほぼ達成できたと思われる。また、他の技師会への連絡、会員同士のコミュニケーション、会へのご意見などこのような利用が出来ればと考えている。そして将来的に技師会の中だけでなく、広く一般への公開も出来ればと思っているが、まだまだ時期尚早のように思われる。

アドレス：<http://www.ne.jp/asahi/ymart/ymbit/index.html>

i

メールアドレス：ymbit@internet.email.np.jp

平成11年11月22日

平成11年度ボウリング大会報告

福利厚生・杉本

去る11月22日(月曜日)に恒例のボウリング大会をショパーズ内のプランズウィック・スポーツ・横須賀で開催致しました。当日は、横須賀共済病院の忘年会とぶつかりましたが会員・賛助会員合わせて26名の参加者がありました。

さて、ゲームの方はと言いますと、今年は優勝、準優勝、3位は市民病院の方たちが独占取り、ハイゲームは衣笠病院の方が取りました。今回も例年同様好プレーあり珍プレーあり、和気あいあいに盛り上がりました。結果発表後、「すずめのお宿」で懇親会を開きました。その懇親会に新倉会長と二田理事が駆けつけて参加をしていただき、参加人数も18名になりました。

★順位発表

優 勝	新倉	(横須賀市民)	353
準優勝	赤松	(横須賀市民)	326
3 位	高久	(横須賀市民)	310

★噂では今年度は県の大会が無いと聞いていたのですが どういう訳か2月19日に急遽県大会が行われるそうですので、次の5名の先生が横須賀三浦地区の代表になります。

柳沢・新倉・赤松・高久(横須賀市民)鈴木(衣笠)県大会でのご健闘をお祈りしています。

最後に賛助会員の方々には大変お世話になりました。この場おかりして御礼を申し上げます。

横三乳房撮影研究会

☆ またまたお邪魔します。

横須賀市立市民病院・須藤 敏

1月〇日

空は鉛色、降水確率は60%を超えている。それでもわずかな雲の切れ間を祈るように見つめる。今日は施設が離れているので、バイクでお邪魔する。気のせいか、シールドに雨が当たったようだ。本降りになる前にZ施設に着くようアクセルを開ける。こういうときに限って、前のダンプがゆっくりと走っている。また一粒、雨が当たる、やはり天気予報はうそをつかない。直線になったところで、いきなりダンプを抜く、そしてクラウン、オデッセイ、ルシーダと次々と追い抜く。立石海岸を越えると左手に海がひらける、さすがに今日は富士がみえない。前方に車はなく、自分のペースで走る。雨はしだいに強くなり、シールドに流れる、「もうだめだ」駐車場に入り、レインコートを着る。雪に備えて厚着をしているので、ズボンがうまくはけない、手がかじかんでうまくジッパーがあげれない。

手間取る僕を横目に、ルシーダが走り去る。そして、轟音をたててダンプもゆく。

中略 約束の15時前にZ施設につく。

駐車場で、コートを脱ぎ、ヘルメットをはずし、玄関に行く。

「すみません、横須賀市民病院の須藤といたしますが、〇〇先生お願いします」「今日は、乳房撮影装置の線量測定にお伺いいたしました」この先生も親切だ、やはり以前お邪魔したことがあるからだ。〇〇先生が暗室にいる間、外の様子を眺める。〇〇先生の協力で30分で終了する。貴重なフィルムを4枚も使ってしまった。

「どうもありがとうございました」心からお礼を言い外に出る。

雨はあがっているみたいだ、「普段の心がけがよいからだ」と自分に言い聞かせ次に急ぐ。

- ①ガラス線量計にて28k v 100mA sにて1回曝射。(1mA s当たりの線量測定)
- ②ガラス線量計にて28k v 100mA s 4回曝射。(半価層の測定)
- ③RMI-156ファントムを28k vにて 濃度1.3前後で撮影する。
- ④ ①の条件にてガラス線量計を曝射。

頭の中で手順を確認しながら、M施設へ急ぐ。

1月△日

バスの中は日差しがやわらかい、夏の強い日差しと違い心地よい。コートを脱ぎ、少しまどろむ。今日も便宜を計ってくれた、当院の技師長、放技科の皆さんありがとうございます。いけない、寝てしまった。窓の外を見て、あわててベルを押す。てなわけで、やってきました今日もまた、アッタシュケース片手にスーツ着て、ケースの中身は線量計……。

Y施設では濃度を合わせるのに時間がかかってしまった。仕方ないタクシーで移動する。タクシー代は請求できるのかと、思いながらUの施設へ急ぐ。車内でパートナーのAさんとの会話の一部

「須藤さん来年度から、MMGを併用した乳癌検診が始まるのですよね」「そう聞いているけど」

「1987年から行われている老健法の乳癌検診は視診と触診だけなんですよね」「最近その有効性が疑問視されていて、MMG（ML0一方向）を併用するらしいんだ」
どまあ、昨日本で読んだ知識を駆使して答える僕です。

中略

Y施設で10件だ。思えば、Y施設には横須賀三浦技師会の線量測定で5回ほどお邪魔している。技師室にも違和感がなく溶け込めるし、乳房撮影装置の操作も、自動現像機の扱いもすっかり身につけてしまった。終了後、Y施設のH技師達といつもの店で飲む。仕事をやり遂げたあとのビールはうまい。やっと緊張が解けてくる、いつもより口がなめらかだ。杯を空ける毎に、みんなの顔が赤らんでくる。僕は大丈夫だと、思っている自分があぶない。

時計の針が9時を回り、客が見慣れない顔に変わった、ずいぶんと飲んでいる。しかし、会計の予想が当たったので、そんなに酔っていない。帰り際、パートナーより線量計を忘れないようにと忠告される。ここで、忘れたら今までの苦労が水の泡だ。というわけで、1週間にわたり、各施設にお邪魔しました。各先生方どうもご協力ありがとうございました。また、機会があったらお願いします。

追記

発送の段階になって、M施設のフィルムに不備があることがわかり再度訪問する。さすがに、はずかしいので仕事帰りにこっそり寄る。遅くまで付き合ってくれたK技師さんありがとうございます。

どうもお邪魔しました。

平成12年2月19日

〈ホトニホトニありがとうございました〉

学術・濱田

平成12年2月19日（土）15：00より、ベルク横須賀6階会議室において、第11回横須賀三浦地区・横浜南部地区合同勉強会を開催致しました。毎度のことながら、開催日及び会場選定の段で、庶務および多くの先生方にご迷惑をおかけいたしました。この場を借りまして深くお詫び申し上げます。

当日は県技師会の行事などと重なり、参加者の数も心配されましたが、参加者62名、うち当地区会員19名参加と、盛会でした。ホッ。

プログラムは以下のとおりです。

- 「横須賀三浦地区乳房撮影装置の評価 -第3報-」
衣笠病院 細井玲子 先生
- 「骨領域における3D画像の臨床的有用性」
三浦市立病院 佐々木祥之先生
- 「全面CR化による現状と使用経験」
横須賀共済病院 千葉一彦 先生
- 「マルチスライスCTアクイリオンの使用経験」
済生会横浜市南部病院 有賀康城 先生

衣笠病院の細井先生の発表は、平成8年にスタートした当地区女性会員中心のメンバーによる乳房撮影合同研究プロジェクトのまとめでした。みなさん覚えていますよね、第8回合同勉強会での平田先生（横須賀市立市民病院）、第9回合同勉強会での斎藤（美）先生（横須賀共済病院）に続く第3報でした。このプロジェクトは当地区の乳房撮影のレベルアップにつながりました。細井先生の発表は、女性らしいおしゃれな発表でしたね。ポインターも印象的でした。お疲れ様。

思い返してみると、我らが女性会員達は、すごく堂々として落ち着いていたし、皆美人だ。と思いませんか。

三浦市民病院の佐々木先生の発表は、3Dの美しいスライドが印象的でした。勉強会のたびに何度も講演をお願いしておりますが、毎回快く引き受けてくださり、学術

一同感謝いたしております。今後とも素晴らしい研究を続けていただきたいと思います。

横須賀共済病院の千葉先生の発表は、昨年秋よりスタートした横須賀共済病院の全面CR化にともなういろいろな苦労話(?)なども聞くことが出来、とても興味深かったです。当地区もCR化が進む中、先端の設備を導入された共済病院の諸先生方のますますのご研鑽を期待します。

横浜南部地区から横浜市南部病院、有賀先生の発表は、これまた最先端のマルチスライスCTを知る、いい勉強になりました。今後当地区にもこのような最先端の装置が導入されることを期待します。

さて、続く懇親会もまた盛況でした。今回は残念ながら当地区の三役が出席できませんでしたが、横浜南部地区の高田会長や庶務の方々、賛助会員の方々のおかげでとても盛り上がりました。ありがとうございました。会長や副会長がいなくても飲む酒の量は同じ、という驚くべき発見もありました。ん？

我々学術ドタバタ3人組の仕事も今年度はこれで終了です。しかし、毎度のことながら各方面に多大なご迷惑をおかけしながらの活動、当然我々3人の力だけでは到底なしえない仕事でした。またまたこの場を借りましてお詫び申し上げます。来年度、どのようなメンバーが学術を担当するか分かりませんが、何度かあったドタバタ劇を思い返し、個人的にもサポートさせていただきたいと思います。一年間ありがとうございました。

平成11年度学術部 高橋宏之(横須賀市保健所)
須藤 敏(横須賀市立市民病院)
濱田順爾(横須賀北部共済病院)

横須賀三浦放射線技師会

役員選挙公示1号

横須賀三浦放射線技師会規約第7条に基づき平成12年度役員選挙の改選を行います。改選にあたり広く役員の内候補を募ります。

改選する役職名	横須賀三浦放射線技師会会長	1名
	// 副会長	2名
	// 理事	若干名
	// 会計監査	2名

選挙管理委員会の設置

選挙管理委員2名を次の通りとする。

衣笠病院	松村 高宏	(0468-52-1182)
逗葉地域医療センター	安藤 悦夫	(0468-73-7752)

立候補の受付および締切

受付開始 2月1日より 締切 3月24日17:00まで

立候補の方法

立候補する意思のある方は、立候補の趣旨を添えて横須賀三浦放射線技師会事務局（横須賀共済病院内中央放射線科Ⅲ22-2710内線2323）又は、選挙管理委員に上記期間内に文面または口頭で届け出る。立候補したものは平成11年度本総会において承認を得る。

編集後記

Y2K問題が一段落したら、うるう年の問題が残っていた。世間ではATMがストップしたり色々あったが当院では、DSA (GE社) の日付が2月29日に3月1日の表示になっていたが、簡単に変更出来た。その他は何事もなく万々歳。

話は変わりますが、ある放射線医のHPを見たところ、技師に対しての不満が色々書かれてた。「藪医者という言葉があるのに、なぜ藪技師という言葉が無いのか？技師はお客様である患者さんに、労働内容が評価されないため、『ヤブ』という言葉を使われないですむのです。」その他プロフェッショナルとしての知識や条件・叱咤激励等・・・HPの内容は、かなりレベルの高い内容であったが？HP (<http://www.gchs.ac.jp/suzuki/you/pro.htm>) しかし、HPの中で、一つだけ疑問に思ったことがあったのです。

CT検査の中で、LとWの値が適切で無いため、画像に問題があるので技師は解剖学や疾病等での画像の特徴や、L値・W値とCT値の関係をもっと勉強すべきであると書かれてあった。L値とW値を規定値にセットさえすれば、適切な画像が得られるとの表現であった。同感である。！！！！！！確かにそうではあるが、CRTやLPが適切に調整管理されているならば、そんな指摘はされないはずである。いくら解剖学や疾病に対する画像診断に長けていても、CRTやLPのstep濃度が適切に調整されて初めてCT値とstep濃度及びL・W値の関係 (L値はCT値・W値はコントラスト) が生きてくるのである。特にL値はその臓器のCT値とstep濃度に深く関係しています。

アナログからデジタルになっても、(CRT診断は反射光の輝度・film診断は透過光の濃度) どちらも人の目には、濃度を曲線を伴った階調差としてアナログ像として捕らえます。人の目はデジタルを理解出来ないのです。

X線装置メーカー・LP装置メーカー・filmメーカーそれぞれに、CT・DSA・DR・CR・MR等の固有の濃度曲線を持っています。(ユーザーに教えてくれない?)

当院では、昨年8月からのCR化においてパラメータの作成にかなりの苦労がありました。各LUTの特性曲線(濃度)が得られなので見た目で判断し設定するしかありません(FCRも同じ)。現在も濃度曲線やグラデュエントカーブが作成出来ないため再現性がありません。デジタル化が進むにつれて、センシトメトリーが疎かにされているようです。我々技師は、最終的に画像を出力する際に、限られた濃度範囲を濃度曲線で表現します。メーカーの皆さん、濃度(曲線)が再現出来ない機械は作らないで下さい。・・・

広報担当 横須賀共済病院 大竹
横須賀市民病院 柳沢
横浜南共済病院 高崎

横須賀三浦

放射線技師会報

Vol. 23 No. 3 通算 75号

2000年 3月22日(木)新

編集/発行・ 広 報 部

印刷/製本・ 広 報 部